

# 港区男子団体戦 2010

主催 港区教育委員会  
(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一般財)港区体育協会  
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男  
ディレクタ 岡山 静  
レフェリー 浦田 幹男  
大会運営係 港区役所テニス部

日時 2010年10月24日 900~17:00 雨天中止(小雨の場合決行)

会場 大井ふ頭中央海浜公園テニスコート(ハードコート) 品川区八潮4-1-19  
当日の連絡 090-1117-5121

種目 男子団体戦(2ダブルス・1シングルス)

集合時間

各ブロック 1番2番及びDブロック の方は AM 8:50  
各ブロック 3番4番 の方は AM 9:50  
上記の時間厳守のこと

試合方法 Aブロック: 6ゲーム先取5-5タイブレーク  
B~Dブロック 5ゲーム先取4-4タイブレーク  
予選総当たり後、1位~3位トーナメント(4位は無し、予選がよっぽど早く終われば実施)

表彰 1~3位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球は主催者が用意する。(ウイルソン)
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

- ・判定とコール  
(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。  
(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。
- ・カウントのコール(サーバーの義務)  
新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。
- ・サービスのレット  
レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)
- ・試合が終了したら  
勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。